

<大朝町大塚, 帝釈峽>

謝 辞

本稿をまとめるにあたり, 岡山理科大学の星野卓二教授と正木智美先生には標本同定と情報提供をしていただきました。東和环境科学株式会社の吉野由紀夫氏, 中外テクノス株式会社の佐藤克則氏には情報提供をしていただきました。広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所の坪田博美准教授, 向井誠二氏, 向井美枝子氏には標本閲覧の便宜を図っていただきました。広島市植物公園ガイドボランティアの北本照子氏には自生地調査の協力を得ました。お名前を記して感謝の意を表します。

引用文献

- 土井美夫 1983. 広島県植物目録. 148pp. 博新館, 広島県.
- 江塚昭典 1994. 農業環境技術研究所所蔵植物標本目録 - 1993年現在 -. 農業環境技術研究所資料 15: 1-153.
- 江塚昭典・松本和夫 1985. 福山市周辺の植物相. 中国農事試験場報告 E23: 1-107.
- 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編) 1997. 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島県.
- 広島市植物公園(編) 2005. 高木リスト 広島県産高等植物目録. 広島市植物公園紀要 22-23: 5-129.
- 星野卓二・正木智美・西本眞理子 2002. 岡山県スゲ属植物図譜. 229pp. 山陽新聞社, 岡山県.
- 星野卓二・正木智美・西本眞理子 2011. 日本カヤツリグサ科植物図譜. 781pp. (株)平凡社, 東京.
- 勝山輝男 2005. ネイチャーガイド 日本のスゲ. 376pp. (株)文一総合出版, 東京.
- 前川文夫 1949. 日本植物区系の基礎としてのマキネシア. 植物研究雑誌 24:91-96.
- 正木智美 2004. アリマイトスゲの新産地. すげの会ニュース 2.
- 正木智美 2009. すげの会ニュース 20: 19.
- 正木智美 2011. 広島県内新記録など<緊急ニュース>. すげの会ニュース 23.
- Okamoto, K. 1965. Taxonomic study of the Carices in the western Honsyu of Japan. Bull. Okayama Coll. Sci.

1: 1-105.

- 大井次三郎 1978. 改訂増補新版 日本植物誌 顕花篇. 1, 585pp. 至文堂, 東京.
- 斉藤隆登 2003. 芸北町産スゲ属植物(1) キイトスゲ. 刈尾(西中国山地自然史研究会会報)12: 7.
- 世羅徹哉・坪田博美・松井健一・浜田展他・吉野由紀夫 2010. 広島県植物誌補遺. 広島市植物公園紀要 28: 1-74.
- すげの会(編) 2009a. 日本産スゲ属植物分布図集(試案) no. 1. 33pp.
- すげの会(編) 2009b. 日本産スゲ属植物分布図集(試案) no. 2. 50pp.
- すげの会(編) 2010. 日本産スゲ属植物分布図集(試案) no. 3. 86pp.
- すげの会(編) 2011. 日本産スゲ属植物分布図集(試案) no. 4. 105pp.
- 鈴木兵二・豊原源太郎・安藤久次・中野武登 1979. 広島県の植生図解説書. 72pp. + 2付図. 広島県. 得居 修 2006. アリマイトスゲが愛媛県にも分布する. すげの会ニュース 8.

摘 要

1. 本調査で, ミタケスゲ, ホシナシゴウソ, ウスイロヒメカンスゲ, アオミヤマカンスゲ, イトアオスゲ, アイノコシラスゲの6分類群が, 広島県で初めて記録された。
2. 広島県植物誌補遺(2010)以降, 現地調査, 証拠標本調査, 文献調査等によって, 新たにスゲ属植物 13 分類群の広島県内の自生を確認した。
3. 広島県のスゲ属 9 種について, 新たな分布情報を追加した。